

第3学年国語科学習指導案

児童 3年2組 男子20名 女子12名 計32名
指導者 金矢洋子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」(説明文)
「食べ物はかせになろう」

2 児童と単元について

(1) 児童について

児童は、1学期の説明文教材「ありの行列」の学習において、中心文をもとにして段落の要点をまとめる学習をしている。読みの方法としては、問いの文と答えの文を見つける、題名や問いの文に関係のある重要語句から中心文を見つける、等の活動を行ってきた。そして、中心文や要点から文章の大まかな内容をとらえ、文章の構成を考える活動にまで発展させた。また、「おもしろいもの、見つけた」の学習において、伝えたいことが読み手にきちんと伝わるように、事柄ごとに段落に分け、順序を考えて書く学習をしている。取材カードにまとめたり、カードをもとに内容を膨らませたりする学習を通して、段落や順序に気を付けて書けるようになってきている。

3年生になって初めての説明文である「ありの行列」を学習した後の7月に実施された国語科意識調査では、「あなたは国語の学習が好きですか」「あなたは進んで国語の授業に参加していますか」の質問にはほとんどの児童が肯定的に答えている。説明文と物語文を比べると、物語文のほうが「おもしろい。」と感じている児童が多い。

本単元では、説明文の学習で、より確実に身に付けたい部分を中心に指導にあたりたい。中心文を捉えたり、要点をまとめたりすることを苦手とする児童もいることから、重要語句や前後の文、段落相互の関係から中心文を捉えるポイントを丁寧に確認することが必要である。また、クイズ作りを通して、読み取ったことを個々に再構成させることで、読みの意欲化を図り、内容理解を深めさせていきたい。書く活動においては、書いた内容がより相手に分かりやすく伝わる工夫をさせる必要がある。書く目的に応じて必要な事柄を集めたり、選択したりできる力がまだ十分身につけているとは言い難い。書く内容を整理したり、組み立てを考えたりする活動を十分に取り、調べた事柄が相手に伝わる文章を書くことができるようにさせていきたい。

(2) 単元と教材について

本単元「大事なことをたしかめよう」は段落やキーワードなどに注意しながら要点を読み取り、教材文の内容を参考にして自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめることをねらいとしている。

教材文「すがたをかえる大豆」は児童にとって身近な食べ物である大豆や、その加工食品について書かれた読み物であり、児童は興味をもちながら読み進めることができるであろう。特に大豆の加工食品については、見た目からは大豆からできていると思われないものが多く、児童にとっては意外性がある。また、本教材は解説型の説明文教材である。段落構成やキーワードも明確であり、子どもたちにとって要約などの学習にも取り組みやすく、また書く活動の際のよい参考例にもなる教材である。この説明文で今まで学習した中心文を見つける力や段落を要約する力を確かめながら、書く活動につなげていく学習を行いたい。

【段落相互の関係をとらえ、全体構成を理解する力】

文章構成図にまとめる。

・小見出し ・接続語 ・答えの文 ・キーワード(重要語句)

文章の内容を正しく読み取るためには、文章の構成を考えさせ、それぞれ何についてどのようなことが書かれているかということを理解させなければならない。

本単元では「はじめ」「中」「おわり」の3つの構成になっているが、その構成を比較教材「ありの行列」の一覧教材文と対比させながら、小見出しを書き込める学習シートを用いて文章構成図にまとめ、内容を的確に理解できるようにしたい。その際、「次に」「さらに」などの順序を表す接続語から「中」の段落を見つけ、キーワード「くふう」をもとに確認したり、答えの文の接続語「このように」から「おわり」の段落を見つけたりするなどして文章の構成を明確にし、段落相互の関係や役割についても正しく理解させていきたい。

この活動は、本単元の広める活動「食べ物がかせになろう」の際、書きたい文章の内容に応じて事柄や構成を考える力を育てる上での基礎となるとともに、発展的に応用させていく意味でも必要不可欠であると考え。

段落の要点をまとめる。 細かい点に注意して読む。

・中心文 ・キーワード(重要語句) ・問いの文 ・クイズ作り

段落の内容を正確に読み取ることは、文章構成を考える上で重要な条件である。そこで、子どもたちが段落の要点をまとめたり、細かい点に注意して読んだりできるような手立てを考えた。

「はじめ」と「おわり」の段落では、文章に一文ずつ番号をふり、話し合いの能率を高めていく。その際、番号をふった一文同士のかかわり合いや、内容理解を具体化させる拡大挿絵などをともに全体で中心文を確認した上で要点をまとめることができるようにしたい。

更に「はじめ」の段落は、話題提示の段落であることから、キーワード「いろいろ」から「問いの文」を子どもたちに作成させて、その段落の役割を読み取らせていきたい。

「中」の段落では、キーワード「くふう」を手がかりに中心文を探し出したあと、「大豆に手を加えるときの言葉」や「すがたをかえてできた食品」を整理しながら内容を読み取らせる。更に、読み取ったことをクイズという形で個々に解釈・再構成させることで、児童が読みのめあてをもち、細部に注意しながら読むことができる力がついてくると考える。

これらの活動は、「食べ物がかせになろう」の学習で、集めた情報を関連付けていくつかのまとまりを形成していく過程の際に、子どもたちの思考を整理させていく上で重要な支援や手がかりになっていくと考える。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味を持って読もうとする。 伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとする。	・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。 ・段落相互の関係に注意し、伝えたいことが明確になるように文章を書こうとしている。
書く能力	身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめることができる。 ＜書くことイエ＞	・調べて書く必要のある事柄を取捨選択し、書こうとするものの中心や段落と段落の続き方に注意しながら文章を書いている。

読む能力	<p>中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫を正しく読み取ることができる。</p> <p>内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読み取ることができる。</p> <p>＜読むことイオ＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる語や文を手がかりに段落相互の関係を考え、内容を的確に理解しながら文章を読み取っている。 内容を意味ごとにまとめりとして理解したり、読み落としてはならない細かい点に注意しながら考えたりして、文章を読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	<p>文章全体における段落の役割を理解することができる。</p> <p>意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使うことができる。</p> <p>＜言語事項オ(イ)(ウ)＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体における段落の役割を理解している。 文や段落相互の関係を示す手がかりとして、指示語や接続語を使って説明している。

4 単元の指導計画と評価規準(17時間)

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	全文を読み、大豆を使った食品を確かめ、簡単な感想を書く。	大豆を使った食品に興味をもち、進んで読もうとする。 (発言、観察、ノート)	初めて知ったこと、驚いたこと等感想を書いている。 (ノート)	
	2	新出漢字や語句の意味を確かめ、学習計画をつかむ。	学習計画から、学習の見通しをもととする。 (観察、ノート)		新出漢字や語句の意味について理解している。 (発言、ノート)
深める	3	全体を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分ける。		接続語について理解し「はじめ」「中」「おわり」に分けている。 (発言、学習シート)	文章全体における段落の役割を理解している。 (発言、学習シート)
	4	「はじめ」の部分の内容を読み取り、要点をまとめる。		「はじめ」の部分の要点をまとめ、どんな話題を提示しているかを読み取っている。 (発言、ノート)	
本時	5	「中」の部分の内容を読み取り、大豆変身クイズを作る。	大豆変身クイズ作りに興味をもち、クイズを作ろうとする。 (観察、学習シート)	大豆をおいしく食べる工夫と食品を読み取り、大豆変身クイズを作っている。 (発言、学習シート)	
	7	「おわり」の部分の内容を読み取り、要点をまとめ、文章全体の感想を書く。	読み取ったことをもとに、まとめの感想を書こうとする。 (発言、ノート)	「おわり」の部分の要点をまとめ、大豆がいろいろなすがたで食べられるわけを読み取っている。 (発言、ノート)	

ま と め る	8	それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。	小見出しについて、進んで理解しようとする。 (観察、学習シート)	それぞれの段落の小見出しを考え、段落相互の関係を読み取っている。 (発言、学習シート)	文章全体における段落の役割を理解している。 (発言、学習シート)
広 め る	9	「食べ物がかせになるう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの流れをつかむ。新出漢字を確かめる。	本作りに興味をもち、本にまとめるまでの活動の手順を理解しようとする。 (観察、ノート)	書く能力	新出漢字について理解している。 (ノート)
	10	調べたい食べ物を決め、学習計画を立てる。	調べたい食べ物を、進んで決めようとする。 (観察、学習シート)	食べ物の何について調べたいかを書き出し、学習計画を立てている。(学習シート)	
	11 12	「本で調べる」をもとに本での調べ方を知る。図書資料の中から調べたい事柄を選び出し、カードに書く。	進んで調べ、カードにたくさん書き出そうとする。 (観察、カード)	調べたいことをカードに書き出している。 (カード)	
	13 14 15	カードを整理し、カードのまとめりごとに文章を書き、清書する。		カードを整理し、まとめりごとに文章を書き、文章の構成を推敲している。 (カード、原稿用紙)	句読点、誤字・脱字に気を付けている。 (原稿用紙)
	16 17	文章をまとめ、本を作る。お互いにできた本を読み合い、感想を書く。	できた本について、自己評価をしようとする。 (ノート)	表紙・前書き・目次等を書いている。できた本を読み合い、感想を書いている。 (本、付箋紙)	

5 本時の指導(6/17)

(1) 本時の目標

大豆をおいしく食べる工夫と食品を読み取ることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
読む能力	大豆をおいしく食べる工夫と食品を正しく読み取り、大豆に手を加える時の言葉を使ってクイズを作っている。また、いろいろな食品に変わる大豆のすばらしさについて考えている。	大豆をおいしく食べる工夫と食品を正しく読み取り、大豆に手を加える時の言葉を使ってクイズを作っている。 例)大豆を日光に当てずに水だけをやって育てるとできる食べ物は何でしょう。	要点をまとめる段階では「くふう」という言葉、クイズ作りの中では大豆に手を加える時の言葉に着目させて、大豆をおいしく食べる工夫について理解させる。

	<p>例)大豆を日光に当てずに水だけをやって育てるとできる食べ物は何でしょう。</p> <p style="text-align: center;">*</p> <p>大豆からできているとは分からないような食品にまですがたをかえているのはすごいと思いました。</p>		
--	---	--	--

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・ 期待する児童の反応	教師の関わり方 ・ 留意事項 評価
見 通 す 5 分	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大豆をおいしく食べるくふうを読み取るう。</div> <p>3 読みの視点をもち、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;">・ 繰り返し出てくる言葉</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~ 段落で、大豆がどのような工夫でおいしく食べられているか思い出させるとともに、クイズ作りの手順を確認する。 ・ 繰り返し出てくる言葉「くふう」という言葉に着目し、 ~ の段落から中心文を見つけ、学習シートにまとめていくことを確認する。
深 め る 35 分	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 段落ごとの要点を読み取る。</p> <p>(1) 中心文を確認する。 「くふう」という言葉が書かれた文を見つけ、番号に丸をしましょう。中心文に線を引きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さらに、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもあります。(1番) ・ これらのほかに、とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もあります。(1番) <p>(2) 学習シートに工夫と食品をまとめる。 中心文を短く学習シートにまとめましょう。工夫からできる食品も書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう ...なっとう、みそ、しょうゆ ・ とり入れる時期や育て方のくふう ...えだ豆、もやし <p>6 大事な言葉について話し合いクイズを作る。</p> <p>(1) 大豆に手を加える時の言葉について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各段落の中心文がどこにあるか、探しながら聞くことを確認する。 ・ 自分の考えをもたせるために、各自で一文番号に をつけさせる。全体で確認した後、サイドラインを引かせる。 ・ 内容を整理するために、学習シートに「~くふう」という形で、段落の要点をまとめさせる。また、工夫からできる食品もまとめさせる。大豆をおいしく食べる工夫と食品をまとめることができたか。(学習シート) ・ 難語句や大豆に手を加える時の言葉の意味を確認し、細部を読み取る手立てとする。

<p>「むす」とは、どんな意味ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気でものを熱すること。 <p>「ゆでる」とは、どんな意味ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱湯で煮ること。 <p>「ナットウキン」「コウジカビ」とは、どんなものですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土や枯草によくついている枯草菌の一つ。 ・デンプンやタンパク質を分解して糖に変える働きをもつ細菌。 <p>大豆からできたことが分からない食品は、どれだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もやし」だと思います。わけは、芽のようになっています、大豆からできているとは分からないと思います。 ・「みそ」だと思います。わけは、大豆をにてつぶしているので、大豆からできているとは分からないと思います。 <p>(2)「大豆へんしんクイズ」を作る。</p> <p>クイズをつくる食品を決めましょう。</p> <p>クイズ文を作りましょう。</p> <p>作ったクイズを発表しましょう。</p> <p>感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豆の形を残していない「みそ」や「もやし」のようすがたでも大豆からできていることに気付かせたい。 ・読み取ったことをクイズという形で個々に解釈・再構成させる。 ・最初に食品を決めることによって、何のクイズをつくるのか、自分の考えをはっきりと決めるようにさせる。 ・教材文に出てきた言葉を使って、クイズ文を作るようにさせる。聞いた家の人に分かりやすく伝わる説明ができるように助言する。 ・早く作り終わった児童には、二つ、三つと作ってもよいことを伝える。 ・作ることが難しい児童には、学習シートにまとめたことや、大豆に手を加える時の言葉の意味を思い出させるようにする。 ・発表する児童には、クイズがはっきりと伝わるようにさせる。 ・聞く児童には、クイズ文の意味が伝わるかどうか、確認しながら聞くようにさせる。また、発表した児童と同じ食品でクイズを作った児童には、自分の作ったクイズ文と比べながら聞くようにさせる。 <p>大豆に手を加える時の言葉を使って、クイズを作ることができたか。(学習シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ作りを通しての感想を交流させる中で、様々な工夫から、大豆をおいしく食べようとした知恵のすばらしさに気付かせたい。 <p>いろいろな食品に変わる大豆のすばらしさについて、考えることができたか。(発言)</p>
--	---

まとめ る 5 分	7 本時の学習について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 大豆をおいしく食べる工夫はどのようなものだったか、繰り返し出てくる言葉をもとに読み取ったことを確認する。
	8 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードに授業の振り返りを書く。 次時は、「おわり」の部分の学習することを確認する。

(4) 板書計画

	<p>すがたをかえる大豆</p>		<p>国分 牧衛</p>
	<p>かだい</p>		
	<p>大豆をおいしく食べるくふうを読み取ろう。</p>		
	<p>教材文</p>		
		<p>さらに、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもあります。ナットウキンの力をかりたのが、なつとうです。むした大豆にナットウキンをくわえ、あたたかい場所に一日近くおいて作ります。コウジカビの力をかりたものが、みそやしょうゆです。みそを作るには、まず、むした米か麦にコウジカビをまぜたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。ふたをして、風通しのよい暗い所に半年から一年の間おいておくと、大豆はみそになります。しょうゆも、よくにた作り方をします。</p> <p>これらのほかに、とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もあります。ダイズを、まだわかつてやわらかいうちにとり入れ、さやごとゆでて食べるのが、えだ豆です。また、ダイズのたねを、日光に当てずに水だけをやって育てると、もやしができます。</p>	
	<p>学習シート表</p>		
<p>目に見えない生物の力をかりて、ちがう食品するくふう</p>	<p>なつとう みそ しょうゆ</p>		
<p>とり入れる時期や育て方のくふう</p>	<p>えだ豆 もやし</p>		